

### 三重大学地域戦略センター

(通称ラスク: RASC: Regional Area Strategy Center)

## 地域の課題解決を担うシンクタンクとして、 全学で活動を展開。

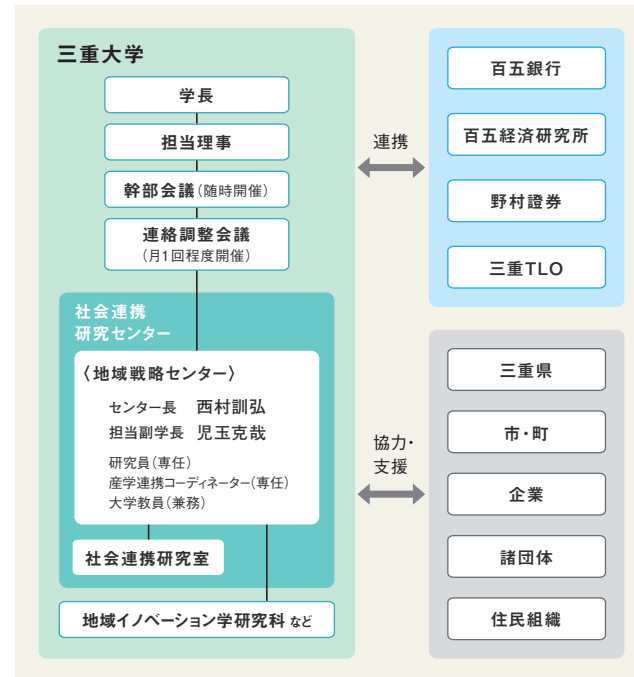
RASCは、三重県内の地域自治体と企業に対して総合的な政策提言・提案と事業活性化のための企画提案を行うとともに、その実行を担当する「活動する地域シンクタンク」として、地域活性化に貢献することを使命とした活動を行っています。

三重大学のような中堅規模の地方国立大学では、存続するための意義を明確にし、運営費交付金以外の資金源を確保することが課題となっています。このように地方国立大学は厳しい状況に置かれているのですが、逆の視点からとらえれば、地域を熟知した地方大学と自治体がお互いの機能を補完しながら連携することが、自立した強い地域社会を形成することにつながる可能性があります。このような認識に立ち、地方自治体を政策面で支援することで地域課題の解決を実行するために、平成23年4月に三重大学地域戦略センター(RASC)を社会連携研究センターの新部門として設置しました。

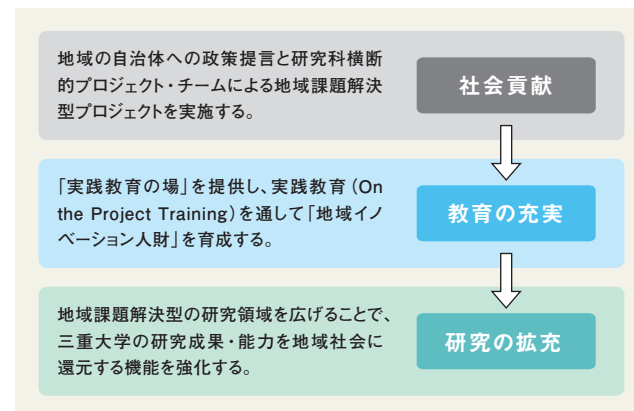
RASCの活動は、外部連携先と三重大学の関係者で構成する連絡調整会議で議論を重ねながら、地域への貢献を第一目的として行っています。また、学長が招集し、研究担当理事、地域戦略センターを担当する副学長・学長補佐らと外部連携先からの代表者により構成される幹部会議を意思決定機関として設置することで、RASCの活動を全学的な取り組みとして認知する仕組みも築いています。このようにRASCには産官学のそれぞれの立場の関係者が参加することで、実践的で効果的な地域貢献のための連携施策が策定できる全国的にもユニークな組織となっています。

三重大学では、これまでも各教員が自治体や地域の審議会や委員会の委員としてかかわるなどして地域貢献を行ってきましたが、大学として総合的な取り組みを行うことはできていませんでした。これに対してRASCでは、解決すべき課題に関連した教員がプロジェクト・チームを編成し、マネジメントを担当する専門スタッフが総合的なプロジェクト運営を行うなど、教員個人の活動とは違った特命チーム体制で課題解決に取り組むことを基本とします。また、RASCで行うプロジェクトに学生を参加させることで実践教育の場としても活用します。

三重大学地域戦略センター(RASC)組織体制図



三重大学地域戦略センター(RASC)の目的



#### 国立大学法人 三重大学 地域戦略センター

<http://www.mie-u.ac.jp/center/rasc/>

お問い合わせ先  
TEL:059-231-9899 FAX:059-231-9899

## T O P I C S

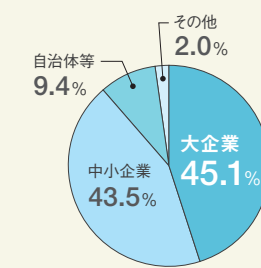
### 三重大学の研究と研究活動を通じた社会との連携

三重大学は教育と研究の成果を社会に還元するために、産業界や地域の公共団体との共同研究等の連携活動を推進しています。大学は、この連携によって、地域の文化の向上や活性化に貢献していきたいと考えています。

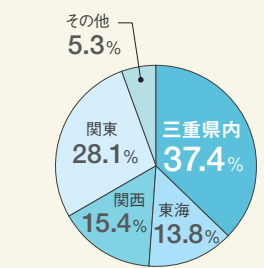
◎平成22年度共同研究の分類



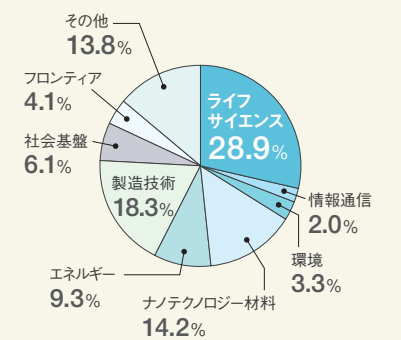
[共同研究相手先の規模等]



[共同研究相手先の所在地]



[共同研究の分野]



◎平成23年度大型研究(1,000万円以上の共同研究、受託研究)

事業名	研究題目	契約相手方	学部等名	研究代表者名
戦略的創造研究推進事業(先導的低炭素化技術開発)	革新的高エネルギー蓄電システムの開発	独立行政法人科学技術振興機構	工学研究科	今西誠之
次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発/次世代技術開発	次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発/次世代技術開発/リチウム空気二次電池用リチウム-固体電解質複合負極の研究開発	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構		
平成23年度地域産学官連携科学技術振興事業補助金地域イノベーション戦略支援プログラム(グローバル型)	高効率・パワージェット部材の開発	公益財団法人科学技術交流財団	工学研究科	平松和政
地域イノベーション戦略支援プログラム(都市エリア型)岐阜県南部エリア事業	上肢・下肢動作支援ロボット(アクティブギプス)の開発	財団法人岐阜県研究開発財団	工学研究科	矢野賢一
先天性代謝異常検査事業	先天性甲状腺機能低下症・先天性副腎過形成症	三重県	医学系研究科	駒田美弘
戦略的創造研究推進事業	糖代謝恒常性を維持する細胞の形態学的解析	独立行政法人科学技術振興機構	医学系研究科	溝口 明
健康安心イノベーションプログラム	基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発/橋渡し促進技術開発/癌特異的抗原受容体変化T細胞の輸注とがんワクチンによる複合的がん免疫療法の研究開発	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	医学系研究科	珠玖 洋
戦略的情報通信研究開発推進制度	地域情報システムを活用した地域圏医療機関のための多施設共同型臨床試験支援システムの研究開発	総務省 東海総合通信局	医学部附属病院	西川政勝
研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	ハイスループットタンパク質生産システムの開発	独立行政法人科学技術振興機構	生物資源学研究科	田丸 浩
地球規模課題国際研究ネットワーク事業(国際共同研究等の推進)	バイオマス資源の持続的生産・活用技術の開発	農林水産省	生物資源学研究科	江原 宏
生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業	ヤママリンの各種誘導体の分子設計と合成	独立行政法人農業・食品産業技術総合開発機構 生物系特定産業技術研究支援センター	生物資源学研究科	今井邦雄
「チーム「ニッポン」マルチサポート事業」<研究開発プロジェクト>	酸素濃度調整マスクの開発	文部科学省	教育学部	杉田正明

(2011.04.01現在)

◎平成21年度共同研究

[件数による順位]

順位	法人名	共同研究件数
1	東京大学	1,302
2	東北大学	837
3	大阪大学	826
4	京都大学	813
5	九州大学	612
6	名古屋大学	479
7	北海道大学	461
8	東京工業大学	416
9	広島大学	319
10	慶応義塾大学	317

順位	法人名	共同研究件数
11	筑波大学	296
12	千葉大学	266
13	大阪府立大学	258
14	信州大学	251
15	東京農工大学	244
16	三重大学	243
17	早稲田大学	239
18	神戸大学	238
19	岐阜大学	204
20	金沢大学	201

[金額による順位]

順位	法人名	共同研究受入額(千円)
1	京都大学	5,613,524
2	東北大学	5,264,724
3	大阪大学	2,920,115
4	東北大学	2,691,876
5	九州大学	1,884,478
6	慶応義塾大学	1,466,943
7	東京工業大学	1,458,526
8	北海道大学	1,141,106
9	名古屋大学	1,079,207
10	早稲田大学	891,793

順位	法人名	共同研究受入額(千円)
11	広島大学	665,689
12	筑波大学	664,376
13	神戸大学	562,566
14	東京理科大学	500,460
15	東京農工大学	498,425
16	三重大学	477,127
17	千葉大学	425,299
18	東京医科歯科大学	424,606
19	名古屋工業大学	363,112
20	信州大学	337,887

(文部科学省HPデータより)